

JTU パラトライアスロン記録会開催マニュアル

本マニュアルは、JTU 認定記録会にパラトライアスリートが参加する際のマニュアルとして、2017年11月14日改訂の「JTU 認定記録会開催マニュアル」に補足するものである。

〔8〕 パラトライアスリートの参加について

1) 参加条件と競技距離

- a) 当該年12月31日現在、15歳以上
- b) 下記 URL 及び表に記載された障害の一例に該当する選手

<http://www.jtu.or.jp/news/2017/170106-2.html>

基本区分	障がいの一例	摘要	カテゴリー	
シッティング (座位)	日常生活で車椅子を利用	筋力障がい、四肢欠損、筋緊張亢進、運動失調、アテトーゼ他。共通の健康状態は脊椎損傷、大脳切断、重度の脳性まひなど。	PTWC	H1 H2
スタンディング (立位)	重度の下肢の障害	四肢欠損、筋緊張亢進、運動失調、アテトーゼ他。共通の健康状態は全型腕神経叢まひ、上腕切断、両下腿切断、重度の脳性まひなど。	PTS2	重度 ↓ 軽度
	脳性麻痺、四肢麻痺など	四肢欠損、筋緊張亢進、運動失調、アテトーゼ他。共通の健康状態は部分的な腕神経叢まひ、中程度の複合肢障がい、中度の脳性まひなど。	PTS3	
	上肢の障害	四肢欠損、筋緊張亢進、運動失調、アテトーゼ、筋力障がい、受動的関節可動域障がい他。共通の健康状態は下腿切断、前腕切断、軽度の脳性まひなど。	PTS4	
	軽度の下肢の障害	四肢欠損、筋緊張亢進、運動失調、アテトーゼ、筋力障がい、受動的関節可動域障がい他。共通の健康状態は片方の下腿切断、前腕切断、軽度の脳性まひなど。	PTS5	
ブラインド (視覚障害)	視覚障害	完全(全盲)な視覚障がい 視力が0.03以下、または視野5度以内 視力が0.1以下、または視野20度以内	PTVI	B1 B2 B3

c) スイム：200m (5分以内に完泳)、ラン1000m (6分以内に完走)

d) 補装具の種類は下記を参照する。電動の補装具はいかなるものでも認めない。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sss/grp/h27hosougu.pdf>

e) 必要な競技用具・補装具、タッパー、ガイド等は、参加者自身が手配する。

2) 記録発表

- a) 年齢区分を<パラアスリート>として主催団体が記録・発表。
- b) JTU パラリンピック対策プロジェクトチームにて記録に対して、強化指定の認定を行う場合がある。

3) 運営マニュアル

- a) 申込受付時に、参加者に障がいの状況（障がい名、障がい等級、日常使用の補装具、記録会時使用の補装具、特に配慮を必要とすること）を申告していただく。
- b) 当日受付時に、付き添い者、及びガイド・タッパーの確認
- c) 安全が確保され、記録会運営に支障がなければ、運営スタッフがガイド・タッパーを担うことができる。
- d) 既存のエクセルに集計する

4) スイム測定 ※「JTU 認定記録会開催マニュアル」に準拠

- a) 200m 泳でのウェットスーツの着用は認めない（ただし、ウェットスーツの着用が可能な会場に限り、PTWC クラスに該当する選手は下肢のみを覆うウェットスーツの着用を認める）
- b) PTWC に該当する選手の 200m 泳では、ITU ルール上認められるニーブレイス・留め具の使用を認める。
- c) 200m 泳での PTVI に該当する選手のガイドの併泳は認めない。
- d) スタートは、台上、台の横からの飛び込み、または水中スタートを選択できる。
- e) 水中スタートは、少なくとも片手でスターティンググリップを含むプールの壁をつかんだ状態からスタートしなければならない。身体的理由により壁をつかめない場合は、水面上の身体の一部がプールの壁についていけばよい。

5) ラン測定 ※「JTU 認定記録会開催マニュアル」に準拠

- a) 義足装着者の 1000m 走では、競技用義足（板バネ）の利用が可能な会場に限り、その使用を認める。
- b) PTWC クラスに該当する選手の 1000m 走は日常用車いすを使用し（競技用車いすの使用は認めない）、ヘルメットを着用しなければならない。
- c) 車いすは身体の一部であり、その接地面がスタートラインや左側のラインに触れてはならない。
- d) PTVI クラスに出場する選手は次のような範囲で、必ず伴走者が必要である。ただし、異性でも認める。
 - (1) いかなる場合も、伴走者は競技者を引っ張ったり、押して前進させるといった推進を助けるようなことはしてはならない。
 - (2) 手をつなぐとか、50cm以内の紐などを持つ、または声をかけるなどによって走路の指示をする。

6) 計測後の主催者業務

- a) パラアスリートが参加した場合は、下記送信先を追加する。
 - 富川 JTU パラリンピック対策チームリーダー swimtommytri@isc.senshu-u.ac.jp
 - JTU 事務局（パラ担当） para@jtu.or.jp

<2018年1月24日改訂>